

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー金曜上映会+やまがた市民映画学校  
〈柳澤壽男監督と福祉映画〉

福祉ドキュメンタリー映画

# そっちやない、こっちや コミュニティケアへの道

監督：柳澤壽男 / 1982 / DVD (原版16ミリ) / 113分



障害者と健全者が共生できる社会をめざし、  
模索し、差別と闘い続けた  
映画監督がいた！

8月24日 [金]

15:00 上映

17:15 トーク：鈴木一誌さん

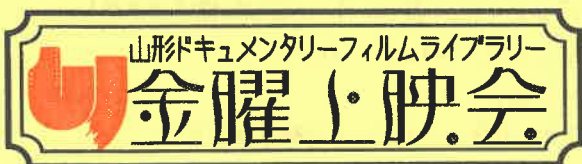
(グラフィック・デザイナー、映画評論家、  
書籍『そっちやない、こっちや映画監督・柳澤壽男の世界』造本者)

18:50 上映

愛知県知多市の療育グループの記録。障害者や親たちの交流、グループが一体となって作業所「ポパイの家」を作り上げていく様子などを通じて、障害者にとってのコミュニティ・ケアとは何かを考察していく。「撮りながら考え、考えながら撮る」原則のもと2年の歳月をかけて制作。山路ふみ子文化財団福祉映画賞受賞。

会場：山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー (山形ビッグウイング3F)




鑑賞会員無料 (当日ご入会いただけます。入会無料。)



山形国際ドキュメンタリー映画祭が主催する定期上映会です。毎月2回開催しています (映画祭開催月を除く)。お名前をご登録いただき、「鑑賞会員」としてご参加下さい。入会金や会費はかかりません。

☎023-666-4480 (山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局)



Yamagata City of Film [www.creative-yamagata.jp](http://www.creative-yamagata.jp)  
ユネスコ創造都市やまがた    @FilmYamagata

## 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー金曜上映会+やまがた市民映画学校 〈柳澤壽男監督と福祉映画〉

松竹のチャンバラ映画で映画の道に入り、文化映画、PR映画等の制作を長年手がけ、50歳を過ぎて独立、83歳で亡くなるまで福祉の映画を作り続けた監督がいた。常に、障害者と健常者が共生できる社会をめざし、模索し、差別と闘い続けた人でもある。

「福祉というのは、自発的意思を尊重することが出発点」が持論で、今でこそ一般的になったコミュニティ・ケア(地域福祉)という考え方が社会に根付く前から、障害者の意見をきき、それを作品に反映させた映画作りが魅力だ。福祉5部作と呼ばれる作品群の中から、そんな監督の思いが特に結実したのが、今回上映する作品だ。愛知県の療育グループの人たちが、親や指導員と共に共同作業所を作ってゆく姿をいきいきと描いている。

今回は、グラフィックデザイナー、ブックデザイナーであり映画評論でも活躍されている鈴木一誌さんをトーク・ゲストに迎え、柳澤作品の魅力について語っていただく。

さいごに、今年2月、ドキュメンタリー作家柳澤壽男監督の全貌を網羅した本『そっちやない、こっちや』が出版された。題字は昨年の山形映画祭が縁で、山形市内の福祉施設「わたしの会社」の利用者の女性が書いたものである。今回のトークで、その経緯なども語っていただく予定だ。

### 柳澤壽男(やなぎさわ ひさお)

1916年群馬県生まれ。松竹京都で劇映画演出を志すが『小林一茶』(1941年/亀井文夫)に感銘を受け、記録映画に転身、日本映画社、岩波映画などで多数のPR映画、ニュース映画を手掛ける。だが企業の宣伝活動を助けることに疑問を感じ、50歳を過ぎて独立、以後は障害者の生活とその苦悩を通して人間が自由に生きることとは何かを問う5作品を発表した。晩年は看護婦をテーマとした新作に取り組んでいたが、1999年6月16日、83歳にて急逝。本映画祭には1989年の第1回より参加、1993年にはアジア・プログラムの審査員を務めて頂くなど深い関わりがあった。尊敬する映画監督に亀井文夫、土本典昭、小川紳介の名前をあげている。



『そっちやない、こっちや 映画監督・柳澤壽男の世界』  
岡田 秀則+浦辻宏昌 編著(著)/新宿書房/¥4,104(税込)  
山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーでも販売しています。

### {おもなフィルモグラフィ}

(山形国際ドキュメンタリー映画祭で上映された作品を中心に)

炭坑 [1947]

東京裁判第三集真珠湾奇襲 [1947]

若い村 [1948]

富士山頂観測所 [1948、朝日文化賞]

飛騨のかな山 [1949]

海に生きる 遠洋底曳漁船の記録

[樺島清一と共同監督、1949、文部大臣賞]

私達の新聞 [1951、新聞協会賞]

わがふるさとの町 [1952]

新風土記・北陸 [1953、農林大臣賞]

室町美術 [1954]

野を越え山を越え [1955]

何処かで春が [1958]

小さな町の小さな物語 [1960]

ロダン [1962]

東レパイレン [1963]

※福祉5部作

1.夜明け前の子どもたち [1968]

2.ぼくのなかの夜と朝 [1971、全国福祉協議会推薦]

3.甘えることは許されない [1975]

4.そっちやない、こっちや

[1982年、山路ふみ子文化財団福祉映画賞]

5.風とゆきさし [1989、日本映画ペンクラブ推薦優秀作品]